

第五十一回帝國議會  
衆議院

# 請願委員第一分科(內閣、大藏省所管及他)會議錄(速記)第二回

## 會議

大正十五年三月十日(水曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

主査 長峰 與一君

太田信治郎君 横山 一格君

宮崎松次郎君 平山爲之助君

田口 文次君 安保 庸三君

兼務

淺川 浩君 岡田伊太郎君

古川 清君 森 肇君

大城幸之一君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 塚本 清治君

內閣拓殖局長 黒金 泰義君

大藏參與官 三木 武吉君

大藏書記官 藤井 眞信君

大藏技師 矢部規矩治君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

長岡 外史君 多木久米次郎君

牧山 耕藏君 神田 正雄君

清瀬 一郎君 近藤 達兒君

田崎 信藏君 廣瀬 德藏君

藤田 包助君 寺田 市正君

大藏書記官 青木 得三君

大藏書記官 加藤榮一郎君

專賣局長官 今北策之助君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一 故赤福武人氏贈位ノ件(第五〇〇號)

二 故澤才兵衛氏贈位ノ件(第五四〇號)

三 皇位並紀元算定ニ關スル件(第五五三號)

四 皇位ノ正閏ニ關スル件(第五五六號)

五 官營印刷業ノ制限ニ關スル件(第六三七號乃至第七一八號)

六 林野ノ所有確認ニ關スル件(第四四八號)

七 臺灣議會設置ノ件(第三四三號)

八 田畑ノ地價修正ニ關スル件(第七三二號)

九 織物消費稅ニ關スル件(第五三九號)

一〇 黑糖及白下糖消費稅免除ノ件(第五七八號、第五七九號)

一一 蓄音機及附屬品等ノ關稅改正ノ件(第四四五號)

一二 亞鉛引針金關稅引上ノ件(第四九一號)

一三 人造絹絲輸入關稅引上反對ノ件(第五三七號)

一四 唐木原料ニ對スル奢侈稅免除ノ件(第五九〇號、第五九一號)

一五 仙崎港開港ノ件(第五七〇號)

一六 萬國貨幣法統一ノ件(第五五四號)

一七 貯蓄銀行ニ於ケル貯金通帳ノ印紙稅免除ノ件(第五九八號)

一八 貯蓄銀行法第九條ニ依ル支拂保證免除ノ件(第五九九號)

一九 貯蓄銀行ヨリ他銀行ヘノ預金利子ニ對スル所得稅免除ノ件(第六〇〇號)

二〇 貯蓄銀行法第九條中改正ノ件(第六〇一號)

二一 貯蓄銀行法第一條中改正ノ件(第六〇二號)

二二 貯蓄銀行法第十三條中改正ノ件(第六〇三號)

二三 貯蓄銀行ニ對スル營業稅免除ノ件(第六〇四號)

二四 鹿兒島縣ニ於ケル煙草作ニ關スル件(第五二四號乃至第五三一號)

○長峰主査 是ヨリ開會致シマス、日程第一、故赤福武人氏贈位ノ件ヲ議題ニ致シマス——紹介議員ガ見エテ居リマセヌカラ是ハ後廻シ、次ハ日程第二、故澤才兵衛氏贈位ノ件ヲ議題ニ致シマス

○多木久米次郎君 一寸簡單ニ申上ゲマスガ、申スマデモナク開墾ニ付テノ最モ大ナル功勞者ヲ表彰シテ賞ヒタイト云フ請願アリマス、三百十餘年前ニハ此開墾ト云フモノハ重大ナル事柄デ、是ハモウ表彰シテ金ヲ附ケテ賞ヒタイト云フ意味デゴザイマセヌ、斯ウ云フ風ニ表彰シテ賞フト云フコトハ、地方人心作興ノ上ニモ非常ナカガアルト云フコトハ言フマデモナイ次第デゴザイマス、ドウカ政府ニ於テモ思想界ノ善化ノ爲ニ大ニ御考慮ヲ願ヒマシテ、ドウカ速ニ表彰シテ賞ヒタイト思ヒマス、私ノ地方ノ郡ハ聖德太子以來朝廷トハ非常ナ密接ナル關係ヲ有テ居ル、歴史的關係上開墾ノ功勞者ガ澤山アル譯デアリマスガ、一方表彰ノ恩典ヲ受ケルコトガ出來ヌト云フコトハ、國家ノ爲ニ洵ニ遺憾ニ思フノデアリマス、請願ノ趣旨ハ右ノヤウナ次第デゴザイマスガ、ドウカ御採擇下サルト共ニ政府ニ於テハ大ニ御考慮ヲ願ヒタイ、又併セテ政府委員ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○塚本政府委員 兵庫縣加古郡ノ篤志家澤才兵衛氏ノ行爲ニ付キマシテ、只今多木

サンカラ御説明ガアリマシテ、相當贈位ノ御沙汰ヲ仰ガル、コトノ出來ルヤウニト云フ請願ノ趣旨ヲ御陳述ニナリマシタ所ヲ承リマシタ、又請願ノ趣旨ノ要領トシテ記載サレテアリマス所ニ依リマス、同縣同郡加古新村等ノ開發ニ付テ盡力セラレタノデアリマシテ、其地方ニ於ケル水利ノ便ヲ大ニ起サレタト云フコトヲ、其請願ニ依テ承知致スノデアリマス、所ガ政府ト致シマシテハ、是マデ當該縣知事カラノ申出ガアツタノデアリマスガ、書類ノ上ニ徵スベキモノガナイ、今日マデ此調ハ實ハ致シテ居リマセヌノデ、承知致シテ居リマセヌ、ソレ故ニ詳細ニ取調ガ出來マシタナラバ、ドウ云フ手續ガ運バレマスガ、測リ難イノデアリマスケレドモ、今ノ所デハ此請願ノ趣旨ニ依テ、略、其要領ヲ知ルダケノ事デアリマシテ、其詳細ガ分リマセヌカラ、只今ノ所請願ノ趣旨ヲ採擇サレテ宜イカ、又如何ニ詮議サルベキカト云フコトニ付テハ、御答申上ゲ兼ネルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○多木久米次郎君 一寸申上ゲマスガ、准

概ニ對スル功勞者魚住逸次、岩本須三郎ノ事ニ付テモ、政府ノ御意衛ト云フモノハ、斯ウ云フモノハ多少調査シタ事モアルケレドモ、火災ノ爲ニ無クナツタト云フコトデアリマスガ、斯ウ云フモノハ賞勳局ノ責任デハナイカト存ジマスカラ、ドウカ至急ニ實際ノ御調査ヲ下サレマシテ、相當ノ御沙汰ニ與リタイノデアリマス、御多用中恐入リマスガ、ドウカサウ云フ事ニ御取計ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○岡田委員 紹介議員ノ多木老ハ、屢、古イ功勞者ノ表彰ニ努メラレルノデ、誠ニ吾吾奇特ノ至リト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ本案ハ政府ニ於カレマシテモ未ダ其調査ガ付イテ居ラス、特殊ノ功勞者ニ對シテハ、其地方長官ヨリ上申モアル筈デアアルガ、マダ其調査ガ付イテ居ラス、其連ビニナッテ居ラスノデアアルカラ、何レ調ベテ見タイト云フコトデアラウト思ヒマス、故ニ斯ノ如ク地方ニ功勞アル、所謂公益ニ盡シタル、現在デ申スト産業ニ重キヲ置イテ、地方ニ盡カシタト云フ人デアリマスカラ、相當ノ調査ヲセラレンコトヲ望ム旨ヲ以テ、政府ニ參考トシタイト思フノデアリマス

○長峰主査 只今岡田君ノ參考送付トシテノ御意見ニ對シテ御異議アリマセヌカ

○異議ナシ「賛成」ト呼フ者アリ

○長峰主査 日程第二ハ參考送付ニ決定致シマス、日程第三、皇位並紀元算定ニ關スル件——紹介議員ハ御出デニナッテ居リマス

○後廻シ「ト呼フ者アリ」

○岡田委員 本案ハ文書表ニ依ッテ御承知ノ通り、我が國史ニ關スル大切ナ事デアリマスガ、既ニ前議會、其前ノ議會ニ於テモ、政府ニ參考トシテ決シテ居リマスカラ、參考送付ニ決シタイト思ヒマス

○長峰主査 御異議アリマセヌカ

○異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○長峰主査 然ラバ參考送付ト決シマス、日程第四、皇位ノ正閏ニ關スル件——紹介議員ハ見エテ居リマセヌカ

○紹介議員ガ居リマセヌカ

○岡田委員 本案モ矢張我ガ皇室ニモ關シテ、國史ニ涉ル事柄デアリマスカラ、政府

ニ參考トシテ決メテ置キタイト思ヒマス

○長峰主査 至極尤ノヤウデアリマスカラ、參考送付デ宜シウゴザイマス

○異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○長峰主査 參考送付ト決シマス、日程第五、官營印刷業ノ制限ニ關スル件、紹介議員ハ御居デニナッテ居リマス

○後廻シニ致シマス、日程第六、林野ノ所有確認ニ關スル件

○牧山耕藏君 是ハ朝鮮人ノ請願デアリマス、私此朝鮮人ニハ面識ハナイノデアリマスガ、態、斯ウ云フ請願書ヲ——本文ハ可ナリ長イモノデアリマスガ、送ッテ参リマシタカラ紹介致シタ次第デアリマス、實ハ内容ヲ能ク承知致サヌノデアリマスカラ、政府委員ガ御出席デアリマスカラ、其方ヨリモ事情ヲ御聽取ノ上御審議ヲ願ヒマス

○政府委員ノ説明ヲ求メマス「ト呼フ者アリ」

○黒金政府委員 私ハマダ一向存ジマセヌノデ、御答申上ダ兼ネマス

○岡田委員 本請願ハ要約シテ隨分長イ請願デアリマス、紹介議員モ文書表ニ據ラナケレバ説明ガ出来ヌヤウデアリマス、又政府ニ於カレテモ、之ニ對シテ答辯ガ作ラレテ居ラスヤウデアリマスカラ、後廻シニ願ヒマス

○後廻シニ願ヒマス「ト呼フ者アリ」

○長峰主査 ソレデハ後廻シノ御意見ガアルヤウデアリマスカラ、後廻シニ致シマス

○日程第七、臺灣議會設置ノ件デアリマス、議題ニ致シマス、紹介議員

○清瀬一郎君 是ハ此請願委員會ニ前後七回出テ居リマスカラ、詳細ハ説明ヲ申ス必要ハナカラウト思ヒマス、要スルニ法律上ノ構成ハ、今施行セラレテ居リマス

○大正十年法律第三號、アノ法律並ニ其精神ヲ前提

ト致シマシテ、アレニ依リマス

ト、日本内地同様ノ法律ハ臺灣ニモ勅令ヲ以テ施行スル、内地ノ事情ニ依リ難キモノハ矢張六三法時代ノ組織デ總督ニ委任シテアル、其總督ニ委任シテアルモノ、即チ臺灣特殊ノ事情ニ關スル立法ヲ爲スニ付テ、公選議員ノ參與ヲ許サレタイ、又是ト同時ニ臺灣ノ豫算ヲモ何等カノ方法ニ依ッテ、例ヘバ内地ニ於ケルガ如クニ、教育、土木、警察ノ一部ト云フヤウナモノヲ協賛スルカ、又ハ特別會計ヲ帝國議會ニ提出スル前ニ其審議ヲスルカ、我國ノ憲法又ハ既成ノ法律ノ精神ニ觸レザル範圍ニ於キマシテ、植民地ノ立法機關ヲ設ケテ呉レ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、從前度ニ審議ノ延期ニ相成、タ事情ハ、臺灣總督府ノ代表政府委員ガ始終出席ヲ拒マレタト云フヤウナ事情デアリマシタケレドモ、此問題ノ價值ト云フモノハ、臺灣ノ行政ノ問題デハナイ、今臺灣ニ於ケル行政ガ良イカ惡イカト云フヤウナ問題デナクシテ、帝國ノ大方針デアリマス、日本ノ國策ト致シテ新領土ヲ如何ニスルカト云フコトデアリマスガ故ニ、政府ノ首腦中心ノ方ガ居ラレルカラ結構ナノデアリマスガ、第五十議會ニ於テ、私ハ豫算委員會ニ於テ、内閣書記官長——今ハ司法大臣ニナッテ居ル江本書記官長ガ、總理大臣ノ出席ヲ求メタノデアリマスガ總理大臣代理トシテ出テ來ラレテ、今ト同ジ事ヲヤルコトハ無論明言ハ出來ナイケレドモ、臺灣其他ノ新領土ニ於テモ、適當ナル參政ノ機會ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコトニ付テハ異存ガナイ、斯ウ云フコトハ揭ゲテ速記録ニアリマス、是ハ今日ノ文明國トシテ相當ノ事ト考ヘマス、今承ハレバ臺灣總督カラ何カ言ッテ來テ居ルサウデアリマスガ、臺灣總督ヤ向フノ行政ヲ扱ッテ居ル者ノ意見ニ依ルノデナクシテ、

帝國ノ最高ノ權威ヲ以テ爲スベキモノト思ヒマスカラ、何卒此問題ダケハ慎重ニ御審議アラントヲ望ミマス

○黒金政府委員 臺灣議會設置ノ請願ハ、只今清瀬君ノ御話ノ如ク今日マデ既ニ七回ニナッテ居リマス、其中最初三回ハ貴衆兩院ニ於テモ不採擇ニナッテ居リマス、第四回目ニ於テハ衆議院ノ解散ノ爲ニ審議ノ結果ヲ見ルコトガ出來ナカッタ、五回、六回ハ貴族院ニ於テハ上程サレナカッタ、衆議院ニ於テハ慎重審議ガアリマシタケレドモ、決定ヲ見ルニ至ラナカッタ、此請願ノ要旨ヲ見マスル

ト、只今紹介議員カラ御話ノ如ク、臺灣議會ヲ設置シテ、臺灣特殊ノ事情ニ基ク特別法規、及臺灣ニ於ケル豫算ノ議決權ヲ付與スルノ臺灣議會ヲ設置シタイト云フコトニアルヤウデアリマス、併ナガラドウモ請願ノ要旨ガ多少誤トシテ居リハセヌカト思ヒマス、若シ此請願ノ趣旨ニシテ地方議會ヲ設置スルト云フ意味デアリマスレバ、總理大臣モ衆議院ノ本會議場ニ於テ聲明セラレマシタ如ク、從來植民地ニ對シテハ内地ノ延長主義ヲ取ッテ居リマスカラ、相當ノ時機ヲ見テ内地同様ノ自治制ヲ施行シテ進ムト云フコトハ、當然ノ事デアラウト思ヒマス

ケレドモ、其自治制ヲ施行スル時機如何ニ付テハ、總理大臣ノ言ハレマシタ如ク、今日ニ於テハ尙ホ尙早ト見ルノデアリマス、而シテ若シ此請願ノ趣旨ハ、只今臺灣總督ニ委任セラレテ居ル所ノ、特別法規ヲ議決スル機關トシ、若クハ臺灣ノ豫算ノ議決ヲ爲スト云フコトデアリマスレバ、聊カ憲法上ニ抵觸ノ虞ハナイカト思ハレルノデアリマス、何故ナレバ法律ニ付キマシテハ、申スマデモナク、帝國議會ガ立法權ヲ持ッテ居ルノガ當然デアリマス、又其立法ノ方法トシテ、現在ノ如ク臺灣總督ニ委任セラレ

タルモノ、如キ形ヲ以テ、臺灣議會ニ委任  
スルト云フ場合ガアツタトシタナラバ、ソレ  
ハ或ハ一ツノ方法カモ知レヌト思フ、併ナ  
ガ元來立法事項ハ申スマデモナク帝國議  
會ノ職權デアリマスガ故ニ、之ヲ地方ノ分  
權ニスルト云フコトハ、聊カ穩當ヲ缺クカ  
ノ如ク感ズルノデアリマス、殊ニ豫算ニ至  
リマシテハ、是ハ帝國議會唯、獨リ議決權  
ヲ持テ居ルノデアリマシテ、之ヲ臺灣ノ  
議會ト云フモノヲシテ、國費豫算ノ議決ヲ  
爲サシムルト云フコトハ、聊カ憲法上穩カ  
デナイデハナイカト、政府トシテハ解釋シ  
テ居ルノデアリマス、就キマシテハ右申上  
ダマシテ趣旨ニ依リマシテ、當議會ニ於キ  
マシテモ御採擇ニナラザランコトヲ希望ス  
ル次第デアリマス

○清瀨一郎君 一寸政府ニ伺ヒマス、是ハ  
常ニ問題ニナリマスガ、法律論ハ聊カ抵觸  
スルシナイト云フ問題デアリマセヌ、アナ  
タ方ガ此案ガ 陛下カラ御下賜給ハタ帝  
國憲法ニ聊カ抵觸スルト云フ、其根據ヲ明  
瞭ニ承ハテ置キタイト思ヒマス、アナタ  
方ハ大正十年法律第三號、臺灣總督ニ立法  
權ノ一部ヲ委任シタ、アノ法律ガ違憲ト仰  
シタルノカ、アノ法律ガ違憲デナイト仰  
シタルデアリマスガ、前提トシテ第一ツ  
レヲ承ハテ置キマス

○黑金政府委員 私ガ申上デマシタノハ、  
今日臺灣總督ニ委任スルト云フコトハ、法  
律ノ委任デアリマスカラ一向差支ゴザイマ  
セヌ、又此委任ノ形式ヲ以テ、臺灣議會ニ  
同ジク臺灣特殊ノ立法權ヲ與ヘルト云フコ  
トモ、一ツノ方法デアラウカト思ヒマス、  
併ナガラ此請願ニ依リマスレバ、臺灣ニ於  
ケル豫算ヲ議決スルノ權ヲ與ヘテ貰ヒタイ  
ト云フコトニナッテ居リマス、臺灣ノ豫算  
ハ申スマデモナク國費デアリマス、國費ノ

議決權ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ議會ノ  
權能デアッテ、臺灣議會ニ付與スベキモノデ  
ナイト、此二ツノ點デ申上ダタ次第デアリ  
マス

○清瀨一郎君 豫算ノ事ハ今伺ハナクテモ  
前ニ伺ヒマシタ、法律ニ對シテノ事ハ宜イ  
デスカ

○黑金政府委員 一ツノ委任ノ方法デア  
ルト考ヘマスカラ、或ハ人ニ依テハ解釋上必  
シモ憲法抵觸デナイト云フ立場モ立ツカト  
思ヒマス

○清瀨一郎君 アナタ方ノ御意見ヲ聞キタ  
イ

○黑金政府委員 政府ノ意見トシテハ聊カ  
虞ト考ヘテ居リマス

○長峰主査 一寸紹介議員ニ申シマスガ、  
或ベク座談的ニナラナイヤウニ、諸願ノ趣  
旨ヲ明瞭ニシテ下サレバ、後デ委員ノ方デ  
審議シマスカラ……

○清瀨一郎君 政府委員ノ意見ヲ伺ヒテ、聊  
カ憲法ニ反スルト云フヤウナ事ガアリマ  
シタカラ、大正十年法律第三號ニ依リ委任  
命令ヲ作ルニハ、公選議員ノ參加スルト云  
フコトガ聊カ憲法ニ反スルト云フコトハ、  
如何ニモ大正十年法律第三號ノ趣旨ガ違憲  
デアルカノ如ク聽ヘマスカラ、是ハ私共ガ  
協賛シタ法律デアリマスカラ、ハッキリシタ  
事ヲ承ハラウトシテ言フタノデアリマス、之ヲ  
ハッキリサス爲ニ言葉ヲ確カリ使ヒマシタ  
カラ、自然討論ノヤウニナッテ甚ダ相濟ミマ  
セヌガ、何等他意ガアルノデアリマセヌ

○黑金政府委員 今私ガ申上デタノハ、必  
シモ其法律ノ立法ノ方法ニ於キマシテ、出  
來ナイ事デアラウトハ強テ解釋スルモノデ  
アリマセヌ、之ヲ虞ト申シタノデアリマス  
○清瀨一郎君 出來ナイ事デナイト仰シ  
タルカラ、其以上ハ追窮ヲシマセヌガ、

豫算ノ方デスガ、アノ臺灣ノ國費デアリマ  
スガ、日本モ府縣制ト云フ法律ヲ以テ、明  
治二十三年迄ハ國費デヤツタ所ノ一部ヲ、  
府縣制ト云フ法律デ地方ノ自治ニ委シテ居  
ル、臺灣モ亦同ジ組織デ今日土木、衛生、  
教育等、是亦府縣制ト同ジ意味ノ法律ヲ以  
テ、豫算ノ一部ヲ臺灣限リデ議決スルコト  
ハ違憲トハ御考ニナリマセヌカ

○黑金政府委員 地方議會ニ於テ地方費ヲ  
議スルト云フコトナラバ格別、臺灣ノ國費  
ニ對シテ臺灣議會ヲ設置シテ議スルト云フ  
コトハ憲法上不都合ト思ヒマス

○清瀨一郎君 今臺灣ニ於テハ總テノ事、  
上カラ下マデ悉ク國費デアッテ居リマスガ、  
是ハ今ノ事デアリマスガ、更ニ其事ノ一部  
分ヲ地方事務ト致シマシテ、日本ガ明治二  
十三年ニ府縣制ヲ布イテ、衛生、土木、小  
學校ノ事ヲ地方費ヲ以テ支辨スルト云フ法  
律ヲ議決致シマシタガ、ソレト同様ニ臺灣  
デアルカライカヌト云フコトモアリマスマ  
イガ、念ノ爲ニ伺ヒテ置キマス

○黑金政府委員 先刻冒頭ニ申上デマシタ  
ヤウニ、地方自治制ノ下ニ於テ地方費ヲ地  
方議會ガ議決スルノハ差支ナイト思ヒマ  
ス、併ナガラ其自治制ヲ今日布イテ居リマ  
セヌ、然ルニ之ヲ區別シテ地方費ノミヲ議  
スルト云フコトデアリマスレバ、是ハ又制  
度ノ立方ニ依ルコト、思ヒマス、今日ニ於テ  
ハ議會ヲ設置シテ國費ヲ議スルト云フコト  
ハ出來ヌト思ヒマス

○清瀨一郎君 今ノ御答辯ニ依ッテ自ラ御  
分リノコト、思ヒマスガ、斯様ナ事ニ付テ  
討論ヲ致シテモ、其結果前ニ仰シヤツタ言  
葉ト正反對ノ言葉ヲ使ハレルト云フコト  
ハ、是ハ政府委員トシテモ個人トシテモ、  
ドウカト思ヒマスガ、即チ前ノ立法ノ事モ違  
方ニ依ッテ法律違反、憲法違反ノ事デナイ、

方法ガアルト認メル、後ノ豫算ノ事モ今ヤ  
ルコトハ出來ヌケレドモ、新タニ法律ヲ  
作ッテ、明治二十三年ニ内地デ布イタト同  
様ニシテヤレバ出來ルト云フコトヲ御承認  
ニナッテ居ル、是ハ討論スル爲ニ此議案ヲ  
出スノデハナイ、是ハ請願デアリマスカラ  
宜シク帝國ノ最高ノ立場ヨリ御考ニナッテ、  
議會ハ無論獨立ノ議會デアアルカラ、政府委  
員ガ如何ニ御考ニナラウトモ、諸君ハ御賢  
慮アッテ御賛成ヲ願ヒタイ

○黑金政府委員 何カ私ノ申シタコトガ前  
後抵觸シタカノヤウナ御話デアリマスカラ  
一應明瞭ニ申上デマス、臺灣ニ地方制度ヲ  
布イテ地方ノ經費ヲ決議スルト云フコトデ  
アレバ何等差支ナイト思ヒマス、併ナガラ  
今日ハ其地方自治ト云フ制度ハ少シモ行  
テ居ナイ、國費ニナッテ居リマスカラ、此請  
願ノ如ク今日臺灣ニ議會ヲ置イテ豫算ノ決  
議權ヲ與ヘルコトハ、憲法上違憲ナリト思  
フノデアリマス

○森委員 只今ノ政府委員ノ御問答ニ依  
テ請願ノ要旨ヲ了解スルコトガ出來マシタ  
カラ、質問ヲ致シマセヌガ、免モ角モ此議  
會設置ノ要求ガ通ルト致シマスレバ、新領  
土ノ統治ノ方針ニモ大ナル關係ヲ持チマス  
ルシ、而シテ此請願ノ趣旨ヲ考ヘテ見ルト  
日本内地ノ各府縣ニ於ケル自治制度ヲ要求  
シテ居ラレルノデモナク、又臺灣ニ議會ヲ  
設ケルト云フコトニ付テ、其議會ニ附與サ  
レル權限ノ點ニ付テモ明確ナラザル所ガア  
リマスカラ、諸願委員會トシテ採擇ヲシテ  
而シテ政府ヲ鞭撻シテ、早晚斯様ナモノヲ  
設ケルト云フコトニナレバ、將來左様ニ致  
スコトガ我國ニ如何様ナ影響ヲ持ツカト云  
フコトニ付テ篤ト考慮ヲ要スルコト、思ヒ  
マス、屢々未決ノ儘ニ御延期ニナッテ居ル  
ヤウデアリマスガ、更ニ考慮ノ餘地ヲ與ヘ

ル爲ニ、本日ハ此未決ノ儘ニセラレンコトヲ希望致シマス

○岡田委員 本案件ハ每議會出テ參ル案デアリマスガ、何時モ一應論議セラレマスガ、要スルニ帝國議會ハ一アツテニアル譯ノモノデナイ、然ルニ臺灣議會設置ト云フ請願デアリマシテ、帝國議會ノ延長又ハ分身ノヤウニ聞エルノデアリマス、之ガ此請願ヲ毎時ムツカシクシナケレバナラスコトニナリマス、只今紹介議員及政府委員ノ應答ニ依リマシテモ、請願ノ意ノ在ル所ノ一部ト、又政府ノ持ッテ居ラレル意見ノ一部ヲモ拜承致シタノデアリマスガ、要スルニ未ダ植民地トシテ全般ニ制度ヲ布イテナイト同ジニ、臺灣ニモ制度ヲ布クコトガ出來テ居ナイケレドモ、府縣制ヲ布カナケレバナラナイト云フコトデサウナレバ當然臺灣議會ト云フト言葉ガ奇異デアリマスガ、假ニ臺灣議會、縣會ヲ布ク時代ガ當然來ルト思ヒマスカラ特ニ立法權ヲ云々スルトカ、或ハ臺灣全島ノ豫算ヲ云々スルト云フコトデナク、即チ臺灣ハ府縣ノ一ツデアルカラ、少シモ早く府縣制ヲ布カレバヤウニシテ戴キタイ、斯ウ云フコトデアリマス、府縣制ヲ布イテ宜シイト云フ時代ガ何時來ルカ、今直グ開イテモ宜イデハナイカ、或ハ今少シ調査ヲ要スルトカ、或ハ備ヘノ足りナイ點ガアルト云フヤウナ意味デ、之ヲ延バシテ置クト云フコトデアルト、請願ヲサレタ人ハモ安心スルダラウト思ヒマス、唯、帝國議會ト同ジモノヲ臺灣ダケヲ分ケテヤルト云フヤウニ思ハレルト、何時モ請願委員會ニ於テ問題マデモナク否決シテ行クヨリ外方法ガナイノデアリマス、故ニ請願ノ特別立法、所謂六三法ヲ云フノデアリマス、大正十年法律第三號ニ依ッテ當然委任セラレタル委任權ヲ又臺灣議會ニ付シ、審議シテ、

其可否ニ付テハ又中央政府ニ於テ之ニ對シ監督權ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ同ジ事デアリマス、總督一己デ決メルコトヲ臺灣ノ公民ニ一應聽イテ吳レバ宜イト云フ意思デアラウケレドモ、一應參政ノ時ヲ與ヘテ吳レロト云フコトガムツカシイ問題ニナツテ居ルカラ、之ヲモウ少シ明瞭ニ、所謂諮問ダケモシテ貫ヘレバ宜イ、又豫算ハ全部ノ豫算デハナイ、所謂之ヲ分チテ國費デヤルモノハ國費デヤツテ吳レ、バ宜イ、地方ノ屬スルモノハ地方ニ委シテ吳レ、バ宜イ、斯ウ云フ風ニ分ケテ請願シタラ宜イト思ヒマス、サウスレバムツカシクナイ、今ノ儘デ臺灣ヲ切離シテ、法律ハ委任立法ニ賛成ヲシテ吳レ、ソレカラ豫算ハ臺灣ノ事ハ總テ分ケテ豫算ヲ委シテ吳レ、斯ウ云フコトニナルト今ノ帝國議會ノ延長、分身見タヤウニナルガ、請願ノ本旨ハサウデハナカラウト思ヒマス、ソレカラ請願者ガ二千數名ノ人ニデアリマスルガ是モ臺灣全體ニ互テ居ル請願デアルカ、大體ニ於テ臺灣ノ本島人ガ主ナモノデアラウト思ヒマスガ、内地人モ之ニ加ッテ居ルヤウニ思ヒマスガ、内地人ト共同デ斯ウ云フ請願ヲシテ居ルノデアルカ、或ハ單ニ臺灣人ノ請願デアルカ、是モ文書表ニハ見エヌケレドモ御承知ナラバ伺ツテ置キタイ

○神田正雄君 只今御質問ノ第一ハ、臺灣人ノ請願モ府縣會ノ自治ノヤウナ順序ヲ取ッテ宜カラウト云フ御話デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り、五十議會ニ於テ朝鮮臺灣ノ自治制施行ニ關スル建議案ヲ出シマシテ、是ハ全會一致ヲ以テ通過ヲ致シテ、此手順モ當局ニ於テ執ッテ吳レルコト、考ヘマシタガ、本年ニ至ッテモ執ッテ居ナイ、此事ハ臺灣ノ人ノ希望デアルト云フコトハ御質問ノ通りデアリマス、今法律ニ關シテハ

清瀨君カラ御話ニナツタカラ申シマセヌ、次ニ御話ノ臺灣人ノ希望デアルカ、内地人ノ希望デアルカト云フコトデアリマスガ、此二千三名ノ請願者ハ悉ク臺灣ノ本島人ダケデアリマス、今日臺灣ニ居リマスル内地人ト申シマスノハドウカト云ヘバ、斯ウ云フ請願ヤ總テノ事ニ付テ、政治上ニ於テ異ナリマスルガ、反對ノ氣分ガ多イコトハ皆サン御承知ノ通りデアリマス、今言フ本島人ノ人達ト云フ者ハ、内地人ノ人達ト云フ者ト、種々ナル仕事ノ關係カラ、根本的ニ日本ト臺灣トノ間ガ如何ニスレバ結付クカト云フ、大キナ考ニ立ッテ居ル人ガ少イノデアリマス、其結果今政府當局ノ御話ニナツタヤウニ、頗ル吾々トシテ解釋ハ出來ナイヤウナ考ヲ持ッテ居ルコトガ多イコトハ事實デアリマス、サウシテ最後ニ私ハ一言——討論デハナイガ附加ヘテ置キタイノハ、此請願ハ只今主査カラ御話ニナツタ通り三回不採擇ニナリ、一回ハ審議未了、後トノ二回ハ又審議未了ト云フコトデ、帝國議會ガ自分ノ領土内ニ在リナガラ、餘リ審議未了バカリニスルト云フコトハ、非常ニ面目ノ上カラ困ル、前年サヘモ既ニ面目ノ上カラ困ルト云フ御議論ガアツタ、而モ之ヲ採擇シタカラト云ツテ、急ニ此通りノ事ヲシナケレバナラヌ、此請願ガ採擇サレタ以上、政府當局ハサウシナケレバナラヌト云フノデハナイ、議會ガ相當ノ同情ヲ持ッテ居ルト云フコトデ、臺灣統治ノ上ニ妙カラザル考慮ヲ拂フコトニナルカ知ラヌガ、是ガ決議ニナリ採擇ニナツタカラ、急ニ此通りヲスルコトハナイト思ヒマス、今政府委員ノ御話デハ、是ガ通過スレバ直グニデモ斯ウ云フコトニナルト云フヤウニ御話ガアリマシタガ、法律上、財政上ノ事ニ對シテ、帝國議會ヲ經ズシテヤルコトハ一モ無イノデ

アリマス、此點ハ請願委員ノ方ノ御考慮ヲ願フテ、今回ハ御審議ノ上ニ御採擇ヲ願ヒタイ

○清瀨一郎君 今岡田君ノ懇切ナル御意見ガアリマシタ、私モ感謝致シマス、今御質問ノ豫算ノ事ハ、無論是ハ地方自治制ト同ジ意味ニナルト思ヒマス、幾ラ是ガ出來マシテモ、臺灣ニ於キマスル軍隊ノ費用トカ、總督府ノ俸給、内地ノ官治行政ニ屬スル事ヲ臺灣ガ審議スルト云フコトハヤレルベキモノデナイ、何レ是ハ臺灣ニ固有ナル、ドウ言ヒマスカ、民政事務ト言ヒマスカ、土木、教育、道路、河川ト云フヤウナ事ハ、府縣ト同ジヤウナ組織ニ依ッテ委任サレマシテ、ソレヲ審議スルト云フコトニナルコトハ無論ト思ヒマス、殊ニ植民地デアリマスカラ、軍隊組織、警察組織、總督府ト云フヤウナモノ、官治ノ系統ニ屬スル事ハ、帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトハ無論ノ事デアリマス、ソレカラ今ノ立法委任、審議權ノ限度デアリマスガ、斯様ナル議會ガ作ラレマシテ、ソレノ決議ニ任スト云フコトハ、ソレハ最終ノ決定トスルカ、或ハソレハ參考的ノモノニナルカ、ソコ等ノ事ハ制度ガ出來タ上ノコト、私ハ思ヒマス、此請願ニモ「臺灣ノ特殊ノ事情ニ基ク法規ニ付テハ臺灣住民ヨリ組織セル議決機關ニ審議權ヲ與ヘラレタシ」、免モ角審議權ガ欲シイト云フ意味デ、其審查決定ガ總督ノ拘束スルヤウニナルカ、或ハ總督ノ否認權——他ノ植民地ニアリマスル總督ノ不裁可權ト云フモノヲ置クカ、或ハモウ少シ緩クシテ、總督ノ參考ニ供スルヤウニスルカト云フコトハ、請願デアリマスカラ、帝國議會デ之ヲ御採擇ニ相成ルナラバ、ソレガ動機トナツテ審議機關ヲ拵ヘル、ソコデ立案スル際ニ御決定ニナレバ宜イ事デアリマス、一般

ノ請願ト同ジヤウニ、悉ク此通りノ筋書通  
リニシロト云フコトヲ特定致シテ居リマセ  
ヌカラ、此主義ニ於テ御賛同下サレバ、ソレ  
ヲ以テ請願者ハ満足スルコト、思ヒマス、  
ソレカラ第三ノ請願者ノ方面デアリマス  
ガ、是ハ神田君カラ申シマシタガ、實ハ此  
處デ私ハ申シマセヌ、言フタラ又是ハ大分  
問題ニナル事デアリマスガ、臺灣ニ於テハ大  
體ニ於テ此請願運動ハ制限サレル傾キガア  
ル、ソレハ此所ニ居ラレル政府委員モ恐ラ  
ク御否認ニハナラヌト思ヒマス、此請願者  
ハ當局ノ忌諱ニ觸レテ居リマス、デアリマ  
スカラ廣ク内地ノ人ノ署名モ取ラテ宜カラ  
ウ、又二千八、三千人ト言ハズ、多クノ贊  
同ヲ求メテ居ルト云フ意味デ、モウ少シ多  
數ノ署名ヲ取ラテ宜カラウト云フコトヲ  
私モ言フテ居リマシタガ、ソレヲ致スト向  
フノ警察官憲ヲ相手トスルコトニナリマシ  
テ、不穩當デアリマスカラ、問題ヲ惡化サ  
セマスカラ、斯様ナル請願者ハ相當アルト  
云フコトデ、此請願者林獻堂其他ノ人ノ知  
人關係ノ者ガ出テ居ルノデアリマス、以前  
ニハモウ少シ澤山出テ居リマシタ、ソレヲ  
辯明致シテ置キマス

○森委員 只今岡田君ト紹介議員兩君トノ  
御問答ニ依ッテ伺フテ見ルト、其御問答ノ間  
ニ現レタ意味ト此請願ノ趣旨ト、此文書表  
ニ御舉ゲニナッテ居ル所ノ文字ト兩方對照  
シテ見ルト、ドウモマダ此請願ノ趣旨目的  
ガ明確デナイヤウニ思ヒマス、即チ此文書  
ニ書イテアル所ヲ見ルト、「臺灣特殊ノ事情  
ニ基ク特別法規及豫算ノ議決權ヲ付與スル  
ノ臺灣統治法ヲ制定セラレタシ」斯ウ云フ  
事ニナッテ居リマス、今岡田君ガ御話ノ日  
本内地ノ道廳、府縣ニ於ケルガ如キ自治制  
度ヲ布クヤウニシタラ宜イガト云ウタガ、  
其點ニ付テ清瀨君ノ御説明ハ御賛成爲サル

ガ如ク爲サザルガ如ク明確デナイ、免ニ角  
是ハ請願デアルカラ一應之ヲ採擇シテ、而  
シテ取捨ヲ如何様ニ爲スカ、ソレハ政府及  
議會ノ仕事デ宜イデハナイカト云フ御話デ  
アリマスガ、苟モ請願委員會トシテ之ヲ取  
扱フニ當ッテ、趣旨目的ヲ明確ニ致シテ、其  
趣旨目的ニシテ賛成スベカラザルモノガア  
ルナラバ、採擇スベカラザルコトハ當然デ  
アリマス、私ハ今少シ考慮ノ餘地ヲ與ヘ  
ラレンコトヲ望ミマス

○岡田委員 本案ハ連年ノ審議ニ拘ラズ、  
本議會ニ於テ現レタル質問應答ノ上カラ見  
マシテ、尙ホ審議致ス必要ガアルト思ヒマ  
ス、今日ハ此程度ニ措キマシテ次回ニ又審  
議シタイト思ヒマス、延期ニ賛成シマス  
○長峰主査 只今森君、岡田君カラ更ニ慎  
重ニ審議シタイ爲ニ重ネテ會議ヲ開キタイ  
ト云フ意味ヲ以テ、本日ハ此程度ニ止メマ  
シテ、又後日審議ヲスルト云フコトニ御異  
議ハゴザイマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○長峰主査 ソレデハ是ハ更ニ審議ヲ致ス  
ト云フコトニシマス——日程第八、田畑ノ地  
價修正ニ關スル件——紹介議員見エテ居リ  
マスカ

○岡田委員 本案ハ私ガ紹介議員ニナッテ  
居リマスガ、山形縣ノ東田川郡ハ、明治九  
年ニ地價等級改正ノ際ニ、地質、交通其他灌  
溉、種々ノ畑地ノ等級ヲ定ムベキ要素ノ數  
點ヲ誤ッテ附ケタモノデアラガ故ニ、改正  
シテ戴キタイト云フコトヲ屢、申出テ居リ  
マスガ、尙ホ其儘ニナッテ居ル、斯ウ云フ  
ノデアリマス、前ニモ二回採擇ニナッテ居  
リマス、此場合御採擇ヲ御願致シマス

○藤井政府委員 是ハ山形縣東田川郡ノ一  
部ニ於キマシテ、特別ノ地價修正ヲシタイ  
ト云フ請願デアリマスガ、此種ノ類似ノ請  
願ハ他ノ地方ニモアリマス、議會ニハ出テ  
居リマセヌデモ、大藏當局ニ向ッテ地方的  
ニ特別ノ地價修正ヲシテ貰ヒタイト云フ希  
望ノ申出ハ少カラズアルノデアリマスガ、  
御承知ノ如ク今回政府ノ提案致シテ居リマ  
スル稅制整理案ノ趣旨ニ於キマシテ、大正  
十五年、十六年、二箇年ヲ要シマシテ、土  
地ノ賃賃價格ヲ課稅標準ニスルコトニ改メ  
ルト云フ計畫デアリマス、其計畫ガ實現セ  
ラル、コトニナリマスレバ、全國各地方ニ  
互ッテ、現在地租ノ課稅標準トナッテ居リマ  
ス法定地價ヲ賃賃價格ニ改正ヲ致シ、全國  
ニ互ッテ公正ナル地租ノ負擔ヲ爲サシメタ  
イ、斯ウ云フ計畫デアリマスルノデ、隨テ  
其際ニ於テ此請願ニナッテ居リマス山形縣  
ノ一部ノ地方ニ付キマシモ、適當ニ課稅標  
準ガ改正サレルコト、考ヘルノデアリマ  
ス、只今直ニ此請願ニナッテ居リマス山形  
縣ノ一部ニ付テノ特別ノ地價修正ヲナス  
コトハ甚ダ困難デアラウト思ヒマス

○岡田委員 採擇ニ願ヒマス  
○長峰主査 採擇ニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○長峰主査 採擇ト決シマシタ——日程第  
九、織物消費稅ニ關スル件、紹介議員ノ説  
明ヲ願ヒマス

○近藤達見君 是ハ此度衆議院ヲ通過シマ  
シタ綿織物ノ消費稅ニ關スル請願デアリマ  
ス、丁度此織物消費稅廢止案ガ議會ヲ通過  
シマシテ實施セラル、頃ハ、夏物ノ整理時  
期デアリマシテ、織物業者ニ於テハ非常ニ  
此稅ノ廢止ニ付テハ感謝致シテ居リマス  
ガ、左様ナ時期デアリマシテ、色々困ッテ  
居ル事情ガアルノデアリマス、ソレ故ニ其  
時ニ出來上ッテ居ッテ既ニ納稅ヲシテアル品  
物ヤ、マダ加工中ノモノ、若クハ納稅猶豫  
中ノモノ、是等ニ對シテ織物稅ノ拂戻若ク

ハ免除ヲシテ戴キタイト云フノガ大體ノ趣  
旨デアリマス、ドウゾ御採擇ヲ御願致シマ  
ス  
○岡田委員 是ハ大藏當局モ居ラル、ノデ  
アルカラシテ、御意見ガアリマセウトモ思  
ヒマスガ、此案ニ似タモノガ文書表第六十  
二出テ居リマシテ、是ハ綿織物稅ノ撤廢ニ  
對スル期限ヲ四箇月間延シテ吳レト云フノ  
デアリマス、ソレガ衆議院ノ院議ニ於テ決  
定サレタ事柄デアルト云フ意味デ不採擇ト  
決シタノデアリマス、是ガ稍、ソレニ似テ  
居ル點ガアリマスルガ、アレハ期日ヲ延長シ  
テ吳レト云フ意味ガ明確ニナッテ居リマシ  
タガ故ニ、定ッテバカリノ法律案ト矛盾ス  
ルガ故ニ、已ムヲ得ズ之ヲ不採擇ニナッ  
ノデアリマスガ、本案ハ納稅猶豫中ノモノ  
ナドハ、課稅金額ダケ交付スルヤウナ方法  
ヲ講ジテ貰ヒタイト云フノデアリマスカラ  
シテ、採擇ハドウカ知ラヌガ、政府ノ參考  
トシテ決シテ置クガ適當デアラウト思フ、  
參考送付ニ願ヒマス

○近藤達見君 只今參考送付ノ御意見モア  
リマシタガ、斯様ナ消費稅ノ廢止ニナル法  
律案ガ此議會ニ出ルトハ固ヨリ豫想シテ居  
ラナカッタノデアリマス、サウシテ既ニ稅金  
ヲ納メテ、納メタモノヲ廢止後ニ賣ルト云  
フコトニナルノデアリマスルカラ、商賣ヲ  
スル方デモ其稅ダケヲ餘計高ク賣ラナケレ  
バナラヌコトニナル、又買フ方デモ、稅ノ  
廢止後ニ於テモ稅金ヲ拂フヤウナ形ニナリ  
マスカラ、洵ニ矛盾シタ結果ニナリマス、  
是ハモウ廢止サレタモノデアラカラシテ、廢  
止サレタ時期ニ於テ賣出ス品物デスカラ、  
其稅金ヲ政府カラ御戻シヲ願フコトハ當然  
デアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ又實  
際ニ加工中デアッテ出來上ラヌモノハ、其  
前ニ出來テ來タモノデアアル、ソレカラ猶豫

中ノモノナドハ、是ハ當然免稅ニシテ然ルベキモノト私共ハ考ヘルノデアリマス、ソレガ最モ條理アルコトデハナイカト思ヒマス、マダ之ニ對シテハ大藏當局ノ方モオホデノヤウデアリマスカラ、一應當局ノ意見ヲ伺ヒタイ

○長峰主査 委員ノ方カラハ參考送付ノ意見ガアリマス、參考……

○森委員 政府委員ノ御説明ヲ伺フタ後ニ決シタイト思ヒマス

○三木政府委員 今日ノ實況ヲ以テ致シマスルト云フト、綿織物ハ當事者間ニ轉々致シマシテ、或ハ染色ヲスルトカ、或ハ晒ストカ、光澤ヲ附ケルトカ、幅ヲ變ヘルトカ、色ヲ加工ヲ施サシテ變形スルモノガ多イノデアリマス、之ニ對シテ一々課稅當時ノ稅額ヲ調査シテ戻稅ヲ致スト云フヤウナコトハ、事實ニ於テ不可能デアリマス、假ニ只今申シマシヤウナ色ミナ變化ガ起テ居ル、其變化ヲ段々々々元ヘ迪テ行クコトガ出來ルト致シマシテモ、ソレハ其全部ガ出來ル譯ノモノデアリマセヌカラ、出來ルモノモアレバ出來ヌモノモアルト云フコトニナリマスルト云フト、却テ廢止前ノ織物ト廢止後ノ織物トノ間ニ權衡ヲ保タント欲スルガ爲ニ、却テ廢止前ノ織物ノ間ニ於テ非常ノ不權衡ヲ生ズルト云フヤウナ結果ニナリマスカラ、實行ノ點カラ申シマシテモ、又實際ノ權衡ノ上カラ申シマシテモ、是ハ請願ノ趣旨ヲ入レル譯ニ行クマイト考ヘマス、又財政上ノ理由カラ申シマシテモ、此戻稅ヲスルト云フコトニナルト、非常ニ多額ノ金額ニナリハシナイカ、現在ノ財政狀態トシテモ、此戻稅ヲ要求スルト云フコトハ、非常ニ困難ダラウト思ヒマス

○岡田委員 若シ議論ヲ致スナラバ、相當ノ議論ガアリマセウガ、要スルニ政府ニ參

考送付トシテ考慮ヲ拂フテ戴キタイ

○長峰主査 參考送付ニ決定致シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○長峰主査 左様ニ決定致シマス——日程第十、黑糖及白下糖消費稅免除ノ件ヲ議題ト致シマス、大城君

○大城委員 只今議題ト相成リマシタ樽入黑糖並ニ樽入白下糖消費稅免除ノ請願ニ付キマシテ、其請願ノ趣旨ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、樽入黑糖及樽入白下糖ハ、沖繩縣農家トシテハ、恰モ他府縣農家ニ於ケル米麥同様ノ農產物デアリマスカラ、目下之ニ課稅セラレテ居リマス所ノ樽入黑糖ハ、百斤ニ付二圓、樽入白下糖ハ百斤ニ付二圓五十錢ノ消費稅ヲ撤廢シテ戴キタイ、消費稅ハ立法ノ精神ニ於テ、其名目ノ通り消費者ノ負擔トナルベキモノデアルガ、此樽入黑糖ト白下糖トノ消費稅ハ、其實生産者ノ負擔ト相成テ、一種ノ生産稅デアルコトハ、爭フベカラザル事柄デアリマスカラ、之ヲ撤廢シテ戴キタイト云フノガ請願ノ趣旨デアリマス、之ニ就テハ時間モ切迫シ、請願モ輻湊シテ居リマスルケレドモ、問題ガ沖繩縣トシテハ興廢ニ關スル重大問題デアリマスカラ、理由ヲ簡單ニ申述ベマシテ、御同情ヲ得タイト思フノデアリマス、樽入黑糖ヲ消費者側カラ見マスルト、丁度織物ニ於ケル綿布ノ如ク、一般下層民ニ消費セラレ、東京、神奈川、静岡ノ如キ民力ノ高キ所ニ於テハ、殆ド使用セラレテ居リマセヌ、北海道ノ一千四百四十万斤ヲ最高トシ、鹿兒島縣ノ一千二百九十二万斤之ニ亞ギ、新潟ノ五百六十七万八千斤、愛知ノ三百五十万斤、山形ノ二百九十万斤、熊本ノ二百八十八万斤ノ順序ニナッテ居リマシテ、其用途ハ全國ノ山間僻地ノ農漁村民ノ米麥ノ代用

品、產後用、子供ノ間食物、低級工業材料トナリ、殊ニ北海道東北地方ニ於ケル保溫的食糧品トシテ珍重セラレテ居ルノデアリマス、而シテ米麥同様ノ必需品トシテ、下層民ノ缺クベカラザルモノデアリマス、消費稅ガ生産者ノ負擔トナッテ居ルト云フコトハ、一ハ市場ニ於テ世界ノ糖價ニ支配セラレマシテ、獨立ノ地位ヲ占メ得ナイコト、二ハ販路ガ狭小デ、需要ガ旺盛デナイコト、三ハ生産者ガ消費者ヲ制シ得ズシテ、正ニ其反對デアルコト、四ハ他府縣ノ農業ニ比シ、著シク利益ガ少ナイコト、五ハ生産費ヲ低減シテ、利益ヲ増進スル餘地ガ乏シイコト、斯様ナ狀態ニ於テ、消費稅ヲ消費者ニ轉嫁セシムルコトハ、到底得テ望ムベカラザルコトデアリマシテ、若シ夫レ消費稅ヲ消費者ガ負擔シテ居ルトスレバ、消費稅ノ賦課又ハ増稅、減稅ヲ行ハル、場合ニ於テハ、生産地タル那覇市場ニハ影響ナクシテ、消費市場タル大阪市場ノミガ稅額ダケ増額ニナラネバナラヌ答デアリマス、然ルニ事實ハ正反對デ、大阪市場ニハ影響ナクシテ、那覇市場ノミニ影響シテ居ルノデアリマス、明治三十年カラ明治四十四年マデ、即チ黑砂糖消費稅ガ賦課セラレナカタ以前ノ大阪相場ト那覇ノ相場トノ百斤ニ對スル差額ハ、運賃諸掛費、移出商ノ中間利得ヲ合セテ、平均五六十錢見當デアリマシタ、所ガ一圓ノ消費稅ガ始メテ課セラレルヤウニナッタ其翌年、明治三十五年カラハ、那覇市場ハ前年ヨリモ一圓六十六錢ノ下落トナリ、大阪市場トノ値額ガ一圓五十九錢ヲ示シ、消費稅ハ完全ニ生産者ノミノ負擔ニ歸シテ居ルノデアリマス、而シテ三十六年、三十七年引續イテ此現象ハ深刻ヲ加ヘマシテ、運賃諸掛費マデ、殆ド全部生産者ガ負擔スルト云フ窮境ニ陥ッタノデアリ

マス、明治三十八年ニハ消費稅ガ一圓カラ二圓ニ増課セラレマシテ、大阪市場ハ前年ニ比シテ三圓ダケ奔騰シマシタガ、此年ニハ相場ノ建値ガ黑糖ニ半ノ品位ガ二歩ニ變更セラレタ關係モアリマスシ、又日露戰爭中デアリマシテ、戰時物價ノ影響ヲ受ケタト見ルベキ節モアリマスノデ、平時ト異リ相場ノ變動ヲ來シタ原因ガ極メテ複雜デアリマスカラ、租稅關係ニ對スル判斷ヲ下スコトハ困難デアリマス、所ガ明治四十一年ニハ消費稅ガ更ニ増課セラレマシテ、三圓ニナリマシタガ、大阪相場ハ却テ前年ヨリモ十三錢安クナッテ居ルノデアリマス、然ルニ那覇市場ハ前年ヨリモ一圓八錢ダケ下リマシテ、大阪トノ値額ガ四圓八十錢トナリマシテ、前年ニ比シテ九十五錢ダケ大キクナッテ居ルノデアリマス、是レ明ニ増額ニナッタ一圓ノ消費稅ガ、殆ド全部生産者ガ負擔シタヤウニナッタト云フデモ間違ヒハナカラウト思ヒマス、明治四十二年ニ消費稅ガ一圓ダケ減額セラレマシテ、一圓ニ返ッタ其場合、若シ消費稅ヲ消費者ガ負擔シテ居タトスルナラバ、大阪相場ハ前年ヨリモ一圓ダケ安クナリ、那覇市場ニハ何等ノ變動モナイ答デアリマス、然ルニ事實ハ其正反對デ、大阪相場ハ却テ十三錢騰貴シ、那覇市場ハ七十六錢ノ騰貴ヲ來シテ居ルノデアリマス、即チ消費稅ノ一圓ノ減稅ニ依ッテ、生産者ハ七十六錢ダケ收益ガ増加シ、更ニ翌年四十二年以後ハ、完全ニ一圓ダケ取返シタコトニナッテ居ルノデアリマス、之ヲ要スルニ明治三十四年始メテ一圓ノ消費稅ヲ賦課セラレタ翌三十五年以後ト明治四十一年三圓ニ引上ゲラレタル時ト、ソレカラ明治四十二年ニ二圓ニ戻ッタ時ト、前後三回ニ於ケル相場ノ足取カラ見マシテ、黑糖消費稅ノ有無ハ、消費者ト何等ノ關係ガナクシ

テ、殆ど全部生産者ガ負擔シテ居ルト云フ結論ヲ下スコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、全國黑糖ノ產額ガ七割以上ハ沖繩縣カラ產出セラレルノデアリマシテ、沖繩縣ハ三百年以來黑糖ヲ以テ唯一ノ物產トシ、其產額ノ如何ハ直ニ縣下ノ經濟界ヲ左右致シテ、縣民全體ノ生活ノ安危ヲ支配スルト云フ狀態ニナルノデアリマス、ソレデ縣ニ於テモ是ガ研究ハ固ヨリ手ヲ盡シテ居リマスケレドモ、何分財力ハ貧弱デアリ、規模ハ極メテ小サク此甘蔗ノ栽培面積ハ、一戸當リ僅ニ三段歩デアリマシテ、ソレニ天然ノ恩惠ハ甚ダ薄ク暴風旱害ノ襲來ハ殆ド毎年繰返シテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、ソレデ段當リ收穫ハ四五千斤内外デアリマシテ、他ノ產糖ノソレニ比較シテ、甚ダ遜色ヲ呈シテ居リマス、其黑糖製造法ノ如キモ甚ダ幼稚デアリマシテ、蔗糖素ノ壓搾ニ牛馬ノ力ニ依ッテ廻轉スル所ノ舊式ノ三輪車ノ作用ニ依ルモノヲ以テマシテ、サウシテ全ク原始時代ノ遺方デアリマス、一日ニ二三俵シカ製造ガ出來ナイト云フヤウナ狀態デアリマス、斯様ニ餘程幼稚ノ家庭的ノ工業デアリマスガ故ニ生産費ガ非常ニ高イノデアリマス、臺灣カラ致シマシテ、殆ド三倍ヲ要スルノデアリマス、然ルニ他府縣ニ於ケル米麥作ノ農家ノ所得ハ九圓餘リ、是ハ帝國農會ノ調査デアリマスガ、ソレト比較シテ其半分ノ收穫モ無イノデアリマス、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマスルガ故ニ、目下政府ニ於テモ社會政策ヲ加味シテ、有ユル施設ヲ爲サル今日デアリマスシ、本縣ノ狀態トシテ、他ノ府縣ノ農家ト違ヒマシテ、米麥ハ自給自足ハ出來ナイ皆移入品デアリマス、唯、黑糖バカリガ移出サレテ居ルト云フ狀態デアリマス、右申上ダマシタヤウナ狀態デ、甚ダ收支償ハナ

イデ困ッテ居ルノデアリマスカラ、此際二圓ノ黑糖消費稅、白下二圓五十錢ノ消費稅ニ付キマシテ、之ヲ撤廢シテ裁キテ、此憐ムベキ沖繩ノ農家ヲ救フテ裁キタイト、斯ウ云フ御願デアリマス、何卒御採擇ヲ御願スル次第デアリマス

○森委員 採否ヲ決スル前ニ一應大藏省ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○三木政府委員 只今御紹介ニナリマシタ沖繩黑糖白下消費稅免除ニ關スルコトデゴザイマスガ、沖繩縣ノ財政ノ狀態ガ非常ニ困難疲弊ノ極デアルト云フコトニ對シテハ、政府ニ於テモ同情ヲ致シ、何トカ是ガ始末ヲシナケレバナラヌト云フコトニ付テ苦心ヲ致シテ、大正十五年度ノ豫算ニ於テモ、整理緊縮ヲ旨トシテ居ルニモ拘ラズ、特ニ沖繩縣ノ爲ニ相當ノ經費ヲ計上シタヤウナ次第デアリマス、黑糖並ニ白下糖ノ消費稅免除モ、之ヲアレバ是ガ爲ニ沖繩縣ノ經濟ニ非常ニ好イ影響ヲ及ボスコトハ、吾々モ承知致シテ居リマスカラ、出來得ルコトナラバ何トカ左様取計ヒタイト云フ希望モ持ッテ居リマスカレドモ、何ト申スニモ此黑糖及白下糖ハ、他ノ一般ノ砂糖消費稅トノ關係モゴザイマス、且又政府財政ノ都合及其他ノ他府縣トノ關係モゴザイマスカラ、今日直ニ之ヲ御希望ノ如クニ處置致スコトハ困難デス、元來今回彼ノ政府ノ致シマシタ稅制整理案ノ中ニ、若シ砂糖稅ガ加ヘラレマシタナラバ、當然其結論トシテ沖繩縣ノ黑糖白下糖ノ消費稅ノ事モ、或ル程度マデノ解決ガ出來ルコト、思フノデアリマスガ、御承知ノ通りノヤウナ事情デ、一般ノ稅制整理ノ中ニ砂糖消費稅ノ問題ヲ組入レルコトガ出來マセマデシタカラ、此問題ニ對スル解決モ從テ遲レルト云フヤウナ形ニナリマシタ、併シ政府ニ於テハ議會ガ

終了スレバ、砂糖消費稅ニ關スルコトノ調査ヲ致シマスカラ、其際ニ於テハ十分沖繩縣ノ砂糖ノ事等モ斟酌ヲ致シマシテ、相當考慮ヲ致ス考デアリマス、何卒其際マデ政府ノ確タル意見ノ決定ノ發表ハ御待ヲ願ヒタイ

○太田委員 參考送付

○森委員 只今政府委員ハ沖繩ノ砂糖ニ關シテハ、十分御諒承ニナッテ居ルト云フ事デアリマスシ、沖繩縣ノ方トシテモ只今ノヤウナ説明ガアッテ、政府ノ方モ十分考慮ノ餘地ヲ有セラレルト、思ヒマスカラ、此沖繩縣民ノ請願ハ採擇ヲ望ミマス

○長峰主査 太田サントウデス

○岡田委員 沖繩ニハ大分同情申上ダルコトガアルヤウデアリマスガ、併シ我國ノ此砂糖消費稅ハ重大ノ財源テモアルシ、之ヲ根本的ノ廢止ヲスルト云フ事ハドウカト思フ、全ク免除スルコトハ考慮ヲ要スルト認メマス、參考送付トシテ能ク考慮シテ貰フ方ガ穩當ト思ヒマス

○長峰主査 如何デス

○森委員 採擇ニ願ヒマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○長峰主査 ソレデハ採擇ニ決シマス——日程第十一、蓄音機及附屬品等ノ關稅改正ノ件ヲ議題ニ致シマス

○森委員 是ハ今紹介議員ガ見エテ居リマセマヤウデスガ、昨年も既ニ採擇サレ又請願ノ趣旨モ適當ト思ヒマスカラ御採擇ヲ願ヒマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○長峰主査 ソレデハ採擇ニ決シマシタ——日程第十二亞鉛引針金關稅引上ノ件ヲ議題ニ致シマス

○太田委員 是モ同様採擇ニ願ヒマス〔贊成ト呼フ者アリ〕

○長峰主査 ソレデハ採擇ニ決シマス——日程第十三、人造絹絲輸入關稅引上反對ノ件ヲ議題ニ致シマス

○田崎信藏君 昨ハ紹介議員ト致シマシテ簡單ニ本請願ノ趣旨ヲ申述ベヤウト思ヒマス、本日ノ議會ニ關稅引上ノ事ガ確定議ニナルヤウニ承知致シテ居リマスガ、此輸入人造絹絲ニ付キマシテハ、國產品獎勵ノ目的ノ關稅ノ引上ヲサレルト云フコトハ、紹介致シマス私共モ贊成ノ意ヲ表スルノデアリマス、併ナガラ是ハ實際問題ト致シマシテハ、輸入稅ヲ引上ダル爲ニ却テ消費者ガ非常ナル損失ヲスル結果ニナリマシテ、政府當局ナドニ承リマシテモ、此人造絹絲ニ依ル品物ナドニハ戻稅ガサレアルノデアリマスガ、織物ノ如キハ今日非常ナ輸出ヲ多ク致シテ居リマス、現在日本ノ人造絹絲會社デハマダ需要者ガ要求スルダケ供給ヲシテ呉レナイノデス、サウ云フ次第デアリマスカラ、日本ノ國產品獎勵ノ目的ノ爲メノ關稅引上ニハ同意ヲ致シマスガ、今日マダ人造絹絲ガ日本ノ製品ヲ驅逐セラル、ニ付テハ、ドナラカト申シマスト大資本ヲ擁スルモノニ「トラスト」サレル恐ガアルノデアリマスガ、此場合人造絹絲ノ輸入稅引上ニ付テハ、十分御考慮願ヘル餘地アリト致シマシテ紹介致シタ次第デアリマス、何卒御採擇アランコトヲ切ニ御願ヒ致シマス

○岡田委員 是ハ以前八十九圓ト云フモノノ課稅シテ居タノヲ、我國ノ國產獎勵トカ或ハ贅澤品ニ對スル考慮トカ云フ各方面カラ見テ増加セラレタノヲ、本案ハ却テ全廢セラレタイト云フノデアリマシテ、大分政府ノ政策ト背馳シテ居ル點ガアルノデアリマスガ、能ク考慮ヲ政府ニ促スノ意味ニ於テ政府ニ參考送付ト決定致シタイト思ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○長峰主査 ソレデハ參考送付ト決定致シマス——日程第十四唐木原料ニ對スル奢侈稅免除ノ件ヲ議題ニ致シマス

○廣瀬德藏君 私ノ紹介致シマスノハ唐木原料ノ奢侈稅ヲ免除シテ貴ヒタイト云フノデアリマス、唐木ハ舊澤品ト云フコトハ昔ハ左様デアツカ知レマセヌガ、近來ハ舊澤品ハナインノ實用品デアリマス、我國デハ算盤トカ定規トカ云フモノハ、ドウシテモ是デナクチャナラヌ、又火鉢トカ床柱ナドモ普通ノ家ニ用ヒラレテ居ルノデアリマシテ、十分實用品ダト云フコトガ言ヘル、併シ實用品デアリマシテモ非常ニ値段ノ高イモノデアレバ無論奢侈品デアリマスガ、諸君モ御承知ノ如ク床柱ヲ一本造ルニシテモ、唐木デ造レバ四五十圓デ済ムモノガ、内地品ノ楓トカ桑ノ如キ物ヲ用キルト倍モ二倍モ掛カルノデ、却テ唐木ノ方ガ値段ガ安ク、又用途ノ上カラ言ヒマシテモ奢侈品ハナインデアリマス、然ルニ之ニ十割ノ奢侈稅ヲ課シテ居ル、ソレデ非常ニ困ルノハ東京大阪ダケデ見マシテモ五千人位需要者ガ居リマスガ、是等ノ者ハ他ノ大工或ハ指物屋ナドト違ッテ、堅イ材料ヲ使フノデ特殊ノ技術ヲ持ッテ居リマスガ、此十割ノ關稅ガ掛ッテ居ル爲ニ、内地ノ製造業者ガ衰ヘ、却テ上海邊リデ出來ルモノガ輸入サレルノデ、非常ニ是等ノ需要者ガ困ッテ居ル、殆ド内地ノ製造者ト立行カナイト云フノ關係ニナッテ居リマス、内地ノ商賣ヲ救フ上カラ言ヒ、又需要者即チ製造者ヲ救フ上カラ言ヒマシテモ、亦貿易上ノ關係カラ言ッテモ、今日ハ既ニ實用品トナッテ居リマスカラ、ドウカ此輸入關稅ヲ免除セラレンコトヲ望ム次デアリマス、何卒御採擇ヲ願ヒマス

○岡田委員 本案ハ只今ノ紹介議員ノ紹介ノ通り、舊澤ノミデモアリマスマイ、併ナガラ從價十割ト云フモノニ昨年ナツタモソデアリマスノヲ、直ニ廢稅ト云フコトモドウカト思ヒマスカラ、政府ニ參考トシテ送付スルコトニ決シタイト思ヒマスガ……

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○長峰主査 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○長峰主査 ソレデハ政府ニ參考送付ト決定致シマシタ——日程第十五仙崎港開港ノ件ヲ議題ニ致シマス

○藤田包助君 此請願ハ是マデ幾度モ本請願委員會ニ於テ採擇ニナッテ居リマスシ又ハ極メテ必要ナコトデアリマスカラ、以前通り御採擇ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔賛成〕異議ナシト呼フ者アリ

○長峰主査 ソレデハ採擇ニ決シマシタ——日程第十六萬國貨幣法統一ノ件ヲ議題ニ致シマス

○岡田委員 是ハ從來ニ於テモ採擇ノ案件デアリマス、別ニ從來ト變ッテ居リマセヌカラ採擇ヲ願ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○長峰主査 ソレデハ採擇ニ決シマス——日程第十七ヨリ第二十三マデハ同一紹介議員デアリマスニ依ッテ一括議題ト致シマス

○平山委員 一寸此席カラ御説明申上ゲマス、私ハ本請願各號ノ紹介者デアリマスガ、各號ノ共通ノ趣旨ヲ此際申述べ、又各號ニ付テ別々ニ其事情ヲ申上ゲマス故、何卒御採擇ヲ願ヒタイト思ヒマス、御承知ノ如ク現在ノ貯蓄銀行ハ大正十年ノ發布ニ係ル貯蓄銀行法ニ依ッテ出來タノガ多イノデアリマス、然ルニ該法ハ其經營ニ對シテ嚴重ナル規定ヲ設ケテ居ルノデアリマシテ、現在貯蓄銀行ガ非常ニ困難ニ陥ッテ居ル次

第デアリマス、隨テ本請願七件トモ昨年ノ五月與羽貯蓄銀行同盟會ノ總會ニ於テ、請願スルコトヲ決議セラレタノデアリマス、如何ニ當業者ガ其苦痛ヲ感ジテ居ルカハ之ヲ御覽ニナッテモ推察スルコト、存ズルノデアリマス、今實際ニ就テ其經營ノ困難ナ事情ノ一端ヲ申述べマスノニ、該法ニ依ッテ貯蓄銀行ガ、其銀行ノ受入レタ總額ノ三分ノ一ノ金額ニ對シテ公債ヲ政府ニ供託シナケレバナラヌト云フ規定ガアリマス、サウ致シマスト預ケラレタ所ノ資金ノ三分ノ一ガ固定スル譯ニナリマシテ、運轉スル資本ガ僅ニ三分ノ二デゴザイマス、之ヲ今利率ニ依ッテ計算シテ見マス、運轉シ得ル資本ノ三分ノ二ガ、最高三錢三厘ノ利率ヲ以テシテ、ソレヲ二倍ニ見マス、六錢六厘ニナリマス、ソレカラ供託スル公債ノ利率ヲ一錢三厘トシテ、ソレヲ加ヘマス、七錢九厘ニナル、ソレヲ三除致シマス、二錢六厘ニナリマス、即チ預金ノ總額ヲ運轉スル利率ガ二錢六厘ニナリマス、其中預金ノ利率一錢八厘ヲ差引イテ、尙ホ取扱費其他ノ費用ヲ六厘ト見マシテ之ヲ差引キマス、僅ニ二厘ノ利轄シカナイ事ニナルノデアリマス、非常ニ都合ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、要スルニ貯蓄銀行ハ斯ノ如キ法ノ拘束カラ利益ガ非常ニ減殺サレルノデ、到底他ノ金融機關ト對立シテ其效果ヲ舉ゲルコトガ甚ダ困難デアル、故ニドウゾ相當ニ法ノ改正ヲシテ之ヲ緩和セラレタイト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマス、ドウゾ御採擇ニシテ戴キタイノデアリマス

○太田委員 一寸議事進行ニ付テ申上ゲマス、此貯蓄銀行ノ問題ハ頗ル經濟界ニ關係ヲ持ッテ居ル所ノ必要ナル重大ナル事項ト考ヘマス、折角平山君ガ御説明ヲ遊バス場合デアルカラ、成ベクナラバ大藏大臣若クハ大藏次官ノ御出席ヲ願ッテ、一般銀行及貯蓄銀行ニ對スル大藏省ノ方針若クハ其取扱法ト云フヤウナ事ニ頗ル關聯致シテ居ル事グラウト思ヒマスカラ、其御意見ヲ聽キ、又成ベクハ出來得ルコトナラバ採擇致シタイト考ヘマス、時間モ大分晝飯ノ時刻ニ迫ッテ居リマスカラ、若シ平山君ノ御承認ヲ得マスナラバ大藏大臣カ大藏次官ガ御出席ノ所デ御説明下サ、タ方ガ爲ガ好クハナイカト思ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

〔速記中止〕

○長峰主査 ソレデハ進ミマス、ドウカ……

○岡田委員 當局ノ御意見ハ兩方ニ跨リマセウガ、日程通りニ一ツ交々ニ御説明ヲ願ッタ方ガ便宜ト思ヒマスカラ、ドウカサウ願ヒマス

○青木大藏書記官 貯蓄銀行デ發行ニナリマスル貯金ノ通帳ハ、金額ガ多クナッテモ内容ハ概ネ零細ナル資金ヲ受入レテ、ソレヲ證明スル帳簿デアリマス、大正十二年四月ニ印紙稅法ヲ改正シナケレバナラヌト云フノデ、元ト三錢ノモノヲ一錢ノ稅ニ引下ゲテ居ルノデアリマス、併ナガラ印紙稅法ハ一般ニ廣ク財產權ノ創設、移轉、變更若クハ消滅ノ證明ヲスベク證書帳簿ニ對シテ適用スル事ニナッテ居リマスカラ、貯蓄銀行ノ作成スル通帳ニ對シテノ免稅スルト云フコトハ考慮ヲ要スル事ト思ッテ居リマス、併ナガラ此印紙稅法ノ改正ニ付キマシテハ、今期議會終了後第二次ノ稅制整理ノ際ニ當リマシテ、一般ニ印紙稅法ノ改正ニ付テ調査研究スルコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、其際ニ問題ト致シマシテ考究スルコトニ致シタイト思ヒマス

○加藤大藏書記官 第二ノ貯蓄銀行法第九

條ニ依ル支拂保證免除ノ件ニ一寸申上デ  
マス、貯蓄銀行法第一條ニ於テ零碎ナル資  
金——預金ヲ受入レテ安全確實ニ利殖ス  
ルト云フコトヲ本旨ト致シテ居ル其貯蓄銀  
行ガ、定期預金ヲ扱フノハ第五條ニ於テ併  
セ營ムコトヲ得、詰リ附帶業務トシテ認メ  
タノデアリマス、其零碎ナル資金ヲ集メテ、  
ソレヲ更ニ有利ニ預メ替フスルト云フ意味  
ニ於テ、零碎ナル資金ノ變形、延長ト云フ  
意味ニ於テ定期預金ヲ扱フト云フコトニ  
ナッテ居リマス、隨テ貯蓄銀行ノ扱フ定期  
預金ハ、貯金ト同様ニ供託ヲ要スル、確實  
ニ保管サセネバナラス、斯ウ云フ成立ニナ  
テ居リマス、只今ノ所デハ御希望通りニス  
ルコトハ一寸出來ナイト考ヘテ居リマス

○青木大藏書記官 其次ノ請願ニ付テ申上  
ダマス、貯蓄銀行カラ他ノ銀行ヘノ預金  
ハ、遊資處分ノ必要ニ出タモノデナクシテ、  
代理店ノ多クハ普通銀行ナル關係上、餘儀  
ナク支拂準備タルノ目的ヲ以テ、低利ヲ忍  
ビ預金トナス狀態デアアル、而モ該預金ノ利子ニ  
對シテ第二種所得稅ヲ課セラレハ爲ニ、一面  
預金者ニ利子ヲ支拂フトキハ其差ガ幾何モ  
ナイノデ、貯蓄銀行カラ他銀行ヘノ預金利  
子ニ限ッテ所得稅ヲ免除セラレタイト云フ  
趣旨デアリマス、此點ニ付テハ今回ノ稅制  
整理ニ於テ第一種所得稅ト第二種所得稅ノ  
重複ヲ避ケルコトニ致シマシテ、第二種所  
得稅ヲ納メラレル場合ニ於テハ、第一種所  
得稅カラ其納付セラレタル第二種所得稅ヲ  
控除スルト云フコトニ、御承知ノ通り規定  
ガ出來テ居ルノデアリマスカラ、請願ノ趣  
旨ハ大體ニ於テ稅制整理案ニ依ッテ貫徹セ  
ラレルコト、思ッテ居ルノデアリマス

○加藤大藏書記官 貯蓄銀行法第九條中改  
正ノ件、是ハ國債ヲ供託スルコトニアリマ

スガ、其四割ハ地方債ヲ以テ代フルコトヲ  
得ト云フコトニナッテ居リマス、ソレヲ地方  
債ノ國債ト同様ニ供託シ得ルコトニシテ貫  
ヒタイト云フ請願ノ御趣旨デアリマス、此  
供託物件ヲ國債ト定メマシタ理由ハ、第  
一ハ確實ナモノデナクテレバナラス、ソレカ  
ラ金銭ニ換價スルコトノ容易ナルモノ、又  
融通性ニ富メルモノト云フヤウナ標準ヲ考  
ヘマシテ、國債ト云フモノヲ選定シタノデ  
アリマス、勿論地方債ノ中ニハ地方團體ノ  
發行スルモノデ相當確實ナモノモアラウト  
思ヒマスガ、併シ融通性ト云フ點ニナルト、  
國債ニハ到底及ブベクモナイト思ヒマスノ  
デ、今日國債ノ約四割ハ地方債ヲ以テ代フ  
ルコトヲ得ト云フコトヲ規定シテアリマ  
ス、今急速ニ改正シナケレバナラヌト云フ  
コトハ考ヘテ居リマセヌ、次ニ第一條中改  
正ノ件、貯蓄銀行法第一條二十圓未満ノ金  
額ヲ預金トシテ受入レルコト、アルノヲ、  
二十圓未満ト云フコトニ改正シテ貫ヒタイ  
ト云フ趣旨デアリマス、是ハ貯蓄銀行ハ十  
圓未満ノ預金ヲ受入レルガ、其半面ニ於テ  
普通銀行ハ十圓未満ノ預金ヲ受入レルコト  
ガ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、若  
シ之ヲ二十圓未満ノ預金ト云フコトニ改メ  
ルト、普通銀行ハ二十圓未満ノ預金ヲ受入  
レルコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ大  
都會ノ大キナ銀行ニ於テハ二十圓未満ヲ受  
入レルコトガ出來ヌト云フモ、大シテ支  
障ハナイト思ヒマスガ、地方ノ普通銀行デ餘  
リ大キイ金額ヲ扱ハナイ所デハ、相當不便  
ヲ來スノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ  
現行法ハ大正十一年カラ施行セラレテ五圓  
未満ヲ十圓未満ニ變ヘタノデアリマス、或  
ハ將來取引上ノ關係カラ二十圓ニ引上ゲル  
時期ニ到達スルカモ知レマセヌガ、今日デ  
ハ普通銀行トノ關係上直ニ變ヘルコトハ出

來ナイカト考ヘマス、尙ホ第十三條中改正  
ノ件ニ付テ申上デマス、第十三條ニ於テ不  
動產ヲ抵當トスル貸付金ノ總額ハ、拂込資  
本金ト積立金ノ總額ヲ超ユルコトヲ得スト云  
フ規定ガアル、其外ニ預金受入高ヲ加ヘタ  
ル總額ノ三分ノ一マデヲ不動產擔保ノ範  
圍ニ擴張シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ御要求デ  
アリマス、只今モ御述ニナツタ通り、貯蓄  
銀行ハ三分ノ一ハ供託致シテ居リマス、殘  
リノ三分ノ一ハ營業上ニ於テ運用サレル、  
其拂込金、積立金ノ總額ヨリモ更ニ受入金  
ノ三分ノ一ト云フモノヲ不動產擔保ニ放資  
スルト、非常ニ運用上固定ノ傾向ヲ帶ビテ  
來ルノデ、萬一ノ際ソレガ爲ニ資金ノ融通  
ヲ受ケルト云フコトニモ不便ヲ感ズルコト  
ニナルト思ヒマスノデ、不動產ノ擔保貸ハ  
地方トシマシテハ已ムヲ得ナイ點ガアラウ  
ト思ヒマスケレドセ、御要求ノ如ク擴大ス  
ルコトハ、銀行ノ營業方法トシテ如何カト  
考ヘマスノデ、直ニ御要求通り改正スルト  
云フ考ハ持ッテ居リマセヌ

○青木大藏書記官 其次ノ請願ノ趣旨ハ貯蓄  
銀行ノヤウナ極ク收益ノ少イモノヲ外形標  
準ニ依ッテ、營業稅ヲ課スルト云フコトデア  
リマス、縱令二分ノ一ヲ免除セラレテ居  
リマシテモ、貯蓄銀行ニ取ッテハ非常ナ打  
撃デアルカラ、ソレヲ全部免除シテ貫ヒタ  
イト云フ趣意デアアルト思ヒマスガ、此點ニ  
付テハ先程御話ガアツタヤウニ、外形標  
準デ營業稅ヲ課シテ居ルト、外形標準ト同  
一デアル場合ハ、縱令純益ガ少クテモ重イ  
稅ヲ課セラレルト云フ缺點ガアリマスノ  
デ、此度ノ稅制整理ニ於テハ御承知ノ如ク  
純益ニ課稅スルト云フコトニシタノデアリ  
マスカラソレモ矢張請願ノ趣旨ハ大體ニ於  
テ達セラレルコト、思ッテ居ルノデアリマ  
ス

○平山委員 時間ガ迫テ濟ミマセヌガ、今  
政府委員カラノ御説明ヲ承テ極ク簡單ニ  
今一應御願ヒシタイト思ヒマス、第一ノ貯金  
通帳ノ印紙稅免除ノ點ハ、成程仰セノ通り  
今ハ一錢ニナッテ居リマス承ルト此次ノ稅  
制整理ニ於テ何トカ考慮シテ下サルト云フ  
御話デアリマス、今直グト云フ譯ニモ行キ  
マセヌガ、既ニ一錢マデ下ダテ下スツタ以  
上ハ、之ヲ全免シテ、サウシテ一方銀行ノ  
經營ヲ堅實ニシタイ、經營ヲ堅實ニスルト  
云フコトハ詰リ預金者ヲ保護スルト云フ意  
味ニモナル譯デアリマスカラ、ドウゾ全免  
スルト云フコトニ御賛成下サレテ御採擇ア  
ランコトヲ願ヒマス、ソレデハ御採擇ヲ願  
ヒマス

○森委員 私ハ是ハモウ少シ研究シテ見タ  
イト思ヒマシテ、次ニ延期致シタイモノデ  
アリマスガ、決定ヲ御希望ノヤウデアリマ  
スカラ、五百九十八ハ、他ノ印紙稅法ト  
ノ關係モアリマスカラ、參考送付トセラレ  
ンコトヲ望ミマス

○長峰主査 參考送付ト致シマス、第十八  
○森委員 其次ハ、是モ餘程考慮ヲ要スル  
コト、思ヒマスカラ、同様參考送付トセラ  
レンコトヲ望ミマス

○岡田委員 是ハ監督ノ手心ニ關スルコト  
デアリマスカラ、政府參考送付トシタイト  
思ヒマス

○長峰主査 左様ニ決シマス、第十九  
○岡田委員 是モ矢張り監督ノ手加減デア  
リマス、併ナガラ此程度ノモノハ採擇シテ  
宜カラウト思ヒマスカラ、採擇ニ……

○長峰主査 採擇ニ決シマシタ、第二十  
○岡田委員 是モ參考送付ガ宜カラウト思

ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○長峰主査 ソレデハ參考送付ニ致シマス、第二十一

○岡田委員 是モ矢張監督上ノ手加減ニ關スルコトデアルカラ、參考送付ニシタラ宜シト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○長峰主査 參考送付ニ決シマス、第二十二

○岡田委員 是モ同様參考送付ヨリ致シ方ガアルマイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○長峰主査 同様ニ決シマシタ、第二十三  
○森委員 是ハモウ目的ガ達デラレテ居リマスカラ、此以上ニ希望ヲ政府ニ獎メルトハナイト思ヒマスカラ、寧ろ採擇シナクテモ宜シト思ヒマスガ

〔採擇〕採擇ト呼フ者アリ

○長峰主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○長峰主査 デハ採擇致シマス、第二十四

○寺田市正君 時間ガ切迫シテ居リマスカラ、極メテ簡單ニ申上デマス、文書表ニゴザイマス通り、要旨ハ多岐ニ涉ッテ居リマスガ、大藏省告第百八十號ヲ以テ、葉煙草賠償價格ノ引上ヲシテ戴イタ譯デアリマスケレドモ、ソレガ極メテ些々タル引上デアリマシテ、現下ノ鹿兒島縣ノ煙草耕作者ノ窮狀ヲ、到底救フニ至ラナイ程度デアリマス、ソレデゴザイマスカラ、モウ少シ賠償價格ノ引上ヲシテ戴キタイト云フノガ本案ノ眼目デアリマス、第二點ハ、栽培者ノ補償ノ方法ガ極メテ煩瑣デアリマシテ、其賠償價格、是亦僅少ナモノデゴザイマスカラ、是モ今少シ御引上ヲ願ヒタイト云フ點デアリマス、第二ハ、鹿兒島縣ハ御承知ノ

通り煙草耕作ニ適シテ居リマシテ、會テハ國立試驗場モアッタヤウデアリマスガ、先年行政整理ノ爲メ御廢止ニナッテ居リマスカラ、是非此試驗場ヲ御設ケ下サイマシテ、耕作上ノ技術ノ發達ノ爲ニ、指導獎勵ヲシテ戴キタイト、云フ趣旨デアアルノデアリマス、第四點ハ標本等級數ヲ二十五等級ニ増加セラレタイト云フデアリマスガ、從來ハ何デモ三十何等トカアッテ、現在ハ十五六等級ニナッテ居ルノデ、今少シ等級ヲ殖ヤシテ戴キタイトノデ、煙草耕作者ノ出來上リマシタ煙草ニ付テ、十分ニ等級ニ嵌メテ戴キタイト云フ趣意ニ外ナラヌデアリマス、次ニ第五點ハ、標本製作ニ際シテ、耕作者ノ代表者ヲ會セテ戴キタイトノデアリマス、第六點ハ、優等標本ノ設備ヲ爲シテ段々耕作熱ガ沮喪シテ參リマス原因ヲ排除シテ、一層獎勵シテ戴キタイト云フニ過ギナイノデアリマス、餘リ多岐ニ及ッテ居リマスケレドモ、ドウカ……

○淺川委員 六點ノ要求モアルヤウデアリマスガ、專賣局長官ハ、各項ニ付テドウ云フ御考デアリマスガ、簡單ニ……  
○今北專賣局長官 簡單ニ私カラ御答ヲ申上デマス、專賣局ハ從來カラシテ、鹿兒島ノ如キ優良ノ葉煙草ヲ非常ニ優遇シテ居リマテ、既ニ年々歲々賠償價格ヲ引上ゲテ居リマスガ、其引上ゲ方トシテモ、優良品ニハ特ニ能ク分配サレヤウニ引上ゲテ居ルノデアリマス、十等以上ヲ引上ゲ、十等以下ハ引上ゲナイト云フコトニシテ居リマシテモ、十年度ニモ引上ゲ、十三年、十四年度ニモ引上ゲテ居ルノデアリマスノデ、御趣旨モ御尤トハ思ヒマスケレドモ、大體御趣旨ニ副フヤウナ方針デヤッテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ御含ミ置キヲ願ヒマス、賠償價格ト云フモノハ、生産費ヲ第一、本ニ

シテ、ソレニ調合スル作物ノ關係ヲ見テ、ソレカラ葉煙草ノ品質其物、サウ云フ三ツヲ較ベテ、賠償價格ヲ決メルノデアリマスカラ、其生産費ノ關係ハ、十一月、十二月頃ニ決メルノデアリマスカラ、只今カラ直ニ引上ゲルト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、只今ノヤウナ方針デ居リマスカラ、年末ノ生産費ヲ調ベマストキニ、能ク詳細ニ調べタイト思ヒマス、ソレカラ第二番目ノ罹災補償法ハ是ハ昨年法律ヲ改正シテ其範圍ヲ擴メマシタシ、當分其範圍ハ宜カラウト思ヒマスガ、唯、鹿兒島カラハ罹災ノアッタ年ヲ平年ニ入レルノハイカマデヤナイカト云フ意見モアリマシテ、其點ハ議論ガアルノデスガ、是ハ實行シテ三四年ニシカナラヌノデ、尙ホ考究シタイト思ヒマス、第四ノ國立試驗場ト云フハ吾々當局トシテハ非常ニ希望シテ居ルノデスガ、御承知ノ通り財政緊縮ノ際デアリマシテ、財政計畫上實行サレテ居ラヌノデアリマスカラ、吾々專賣局長官トシテハ努力シタイト思ヒテ居リマス、只今等級ハ十六等ニナッテ居リマスケレドモ、二十六等ニシマスト非常ニ煩雜ニナリマスノデ、大正十年頃ニ二十四等ノモノヲ十六等ニ致シタノデアリマスガ、是ハ當分續ケテ行キタイト思ヒマス、尙ホ將來研究シタイト思ヒマス、標本製作ニ耕作者ヲ立會ハスト云フコトハ政府トシテハ賛成出來兼ネマスノデ、法律ノ立方カラシテ斯ウ云フヤウニナッテ居リマセヌノデ、各耕作者ハ自分ノ葉煙草シカ知ラナイノデアッテ、鹿兒島ノ人ハ關東ノモノヲ知ラズ、關東ノ人ハ鹿兒島ノモノヲ知ラヌト云フヤウナ譯デアリマスカラ、五番目デケハ賛成致シ兼ネマス、六ノ優等標本ハ大體御趣旨ニ副ウテ居リマスノデ、良イ物ヲ拵ヘルヤウニ貴方ガタニ御願致シタイト思ヒマス

○太田委員 本件ハ直ニ採擇セラレンコトヲ希望致シマス  
〔異議ナシ〕賛成ト呼フ者アリ  
○長峰主査 ソレデハ採擇ニ決シマス——此際後廻シニナッテ居リマス日程第一、故赤福武人氏贈位ノ件ヲ議題ニ致シマス——長岡サン御待遠デシタ  
○長岡外史君 赤福君ト同列ノ人ハ大抵贈位ニナッテ居リマスノデ、二十七議會ニ於テモ兩院共ニ採擇ニナッテ居リマスノデ何カノ都合デ遅レタノデアリマシテ、山縣サシナドモエライ心配シテ居ラレタト云フコトヲ大島健一君カラモ聞キマシタガ、左様ナ次第デアリマスカラドウゾ宜敷願ヒマス  
〔採擇〕異議ナシト呼フ者アリ  
○長峰主査 ソレデハ採擇ニ決シマス——日程第五官營印刷業ノ制限ニ關スル件  
〔參考送付〕ト呼フ者アリ  
○長峰主査 ソレデハ參考送付ニ決定致シマス——日程第六林野ノ所有確認ニ關スル件  
○岡田委員 參考送付  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○長峰主査 ソレデハ參考送付ニ決定致シマス、是デ臺灣議會ヲ除キマシテ全部終了致シマシタ、一寸御報告致シマス、議事ノ都合ニ依ッテ會期モ切迫シタ關係モアリマセウカ、分科會ハ是ニテ開カナイト云フコトニ致シマシテ、此次カラ總會ヲ開クト云フコトノ通知ガアリマシタガ、確定致シマシタナラバ又御通知致シマス、今日ハ是デ散會致シマス  
午後一時一分散會